



ひまわりぐみ

稲と野菜育て始めました



作り方を調べて…



田んぼ作り…



水の音が聞こえる！



畑には、様々な魅力的な虫がいます。「いたよ」の聲に駆け寄ります。虫好きの子どもには、たまりません！

ひまわりぐみになると毎年“稲”を育てます。稲は田んぼでは…？と思われませんが、一人ずつのバケツに土と水を混ぜて田んぼを作ります。そこに、水に浸し芽が出た種を植えます。「わぁ～土がぐちゃぐちゃだ」「気持ちいい」「手が黒くて、手袋みたい!!」と子ども達は真っ黒になり悪戦苦闘しながら、頑張っていました。その他にも、ナスとパプリカ、大葉を畑で育てています。生長を楽しみにしている子ども達です。



施設訪問

5月18日・19日に山水園（老人ホーム）と恩方市民センターへ行ってきました。出かける数日前に、どんな所で、どんな方々がいるのか、ひまわりぐみは、みんなで何をするのか…を子ども達と話しました。

山水園訪問当日の朝

Aちゃん「先生、耳が聞こえない（聞こえづらい）おばあちゃんがいるから、大きな声で歌を歌おうね。」

Bちゃん「じゃあ、目が見えないおばあちゃんには、どうするの？」

Aちゃん「んー。握手してあげようか」と話してきました。子ども達なりに、どうしたら良いかを考えていて、この『人を思いやる優しさ』を大切に育てていきたいです。

訪問先では、感謝の気持ちを伝え、歌や子ども達がつ作ったプレゼントを渡しました。

❁ 2日共、暑さや天候不順で予定の変更をさせて頂きました。保護者の方のご協力、ありがとうございました。

